

資料	No.
第198回神戸市 環境影響評価審査会	8

神戸山田太陽光発電所建設事業 令和2年度動植物の移設・移植の概要

令和4年12月

神戸山田太陽光発電所合同会社

1. 動植物の移植・移設先の環境整備

1.1. 動植物の移植・移設先の環境整備

令和2年の動植物の移植・移設に先立ち、令和元年11月11～13日に事業実施区域内の移設地A、B、Cにおいて環境整備を行った。

改変区域と移設地の位置関係を図1.1-1、移設地の状況を写真1.1-3～写真1.1-3に示す。

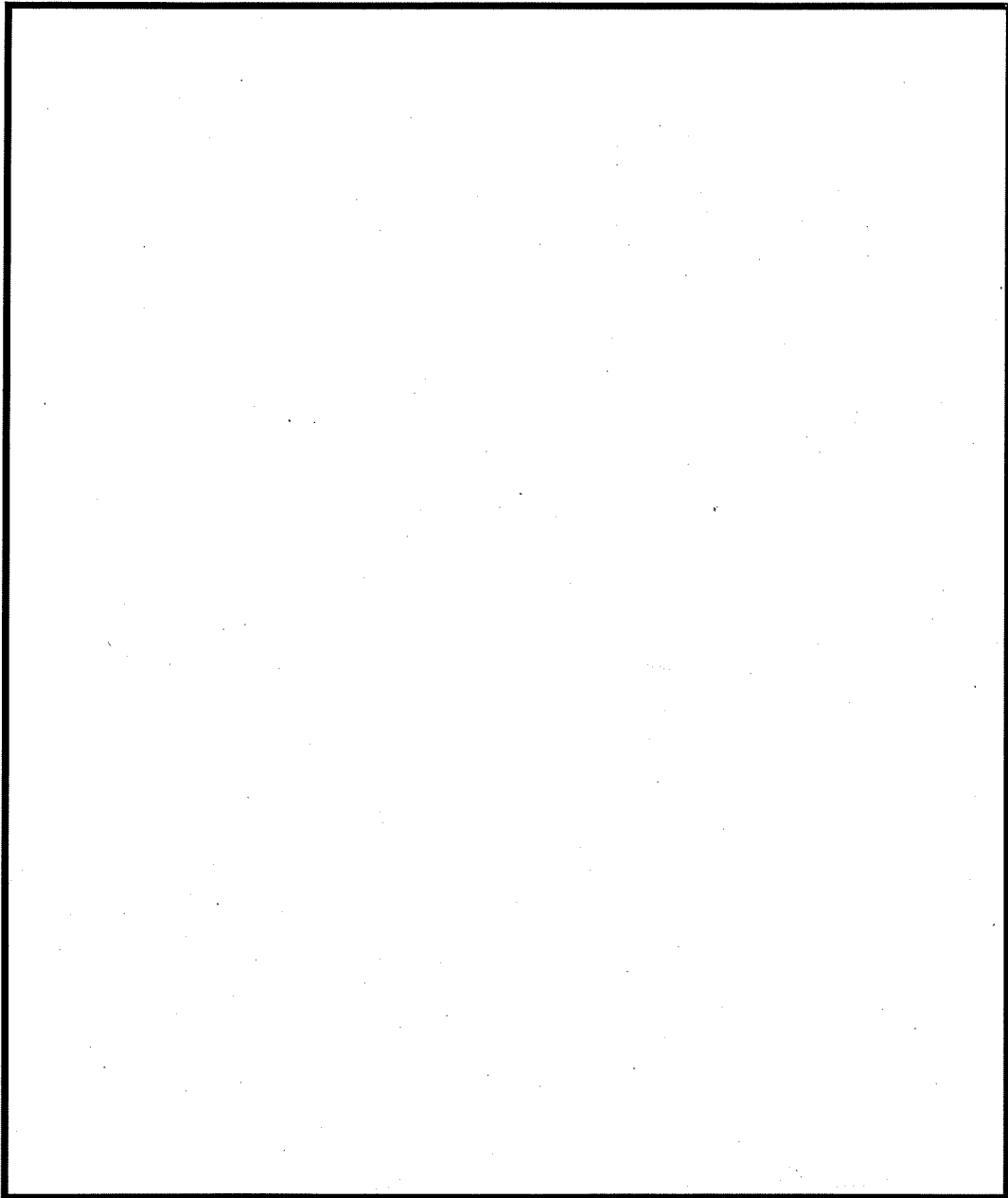


図 1.1-1 改変区域と移設地の位置関係

2. 植物の移植

2.1. 維管束植物・藻類

(1) 移植概要

維管束植物・藻類の移植概要を表 2.1-1 に示す。

表 2.1-1 維管束植物・藻類の移植概要

項目	維管束植物	藻類
対象種	コヒロハハナヤスリ、テイショウソウ、セイタカハリイ、サイハイラン	ハデフラスコモ
実施時期	令和2年5月13日、14日、21日、6月26日	令和2年5月21日
実施箇所	移植元：改変区域内の既往確認地点 移植先：非改変区域の移植地または既往確認地点近傍	移設元：改変区域内の既往確認地点 移設先：移設地 B
実施方法	【生育個体の移植】 改変区域内の生育個体をスコップで土ごと掘り取り、乾燥しないようにコンテナボックス等に収容して移植地または既往生育地近傍に運搬し、移植した。移植後は十分に灌水を行った。	【卵胞子を含む底土の移設】 改変区域内の既往生育地の池において、対象種の卵胞子を含む底土をスコップ等で採取し、移設地に移した。

(2) 移植結果

維管束植物・藻類の移植結果を表 2.1-2 に示す。

表 2.1-2 維管束植物・藻類の移植結果

区分	種名	移植個体数等
維管束植物	コヒロハハナヤスリ	185 個体
	テイショウソウ	71 個体
	セイタカハリイ	6 個体
	サイハイラン	39 個体
藻類	ハデフラスコモ	生育地の池の底土約 2kg

3.2. 昆虫類・陸産貝類

(1) 移設概要

昆虫類、陸産貝類の移設概要を表 3.2-1～表 3.2-2、移設結果を表 3.2-3、表 3.2-4 に示す。

表 3.2-1 昆虫類の移設概要

項目	内容
対象種	オオトゲエラカゲロウ、オオミズムシ、コオイムシ、ヒメケシゲンゴロウ、ルイスツブゲンゴロウ、マルチビゲンゴロウ、ヒメゲンゴロウ、キイロコガシラミズムシ、チュウブホソガムシ、スジヒラタガムシ、ミュキシジミガムシ
実施時期	令和2年4月2～3日、5月14日、6月26～27日
実施箇所	移設元：改変区域内の既往確認地点及びその周辺 移設先：非改変区域の移設地A、B、C
実施方法	【個体の移設】 改変区域内の既往確認地点の水域において、対象種の成虫をタモ網で捕獲し、移設地に運搬して放流した。

表 3.2-2 陸産貝類の移設概要

項目	内容
対象種	ヒメカサキビ、ケハダビロウドマイマイ、ギョウリキマイマイ
実施時期	令和2年5月25～27日、7月4日、12日
実施箇所	移設元：改変区域内の既往確認地点及びその周辺 移設先：非改変区域の移設地A周辺
実施方法	【個体の移設】 改変区域内の既往確認地点及びその周辺を広く踏査し、対象種の個体を直接捕獲し、移設地に運搬して放逐した。

表 3.2-3 昆虫類の移設結果

種名	移設場所		
	移設地A	移設地B	移設地C
オオトゲエラカゲロウ	改変区域内では確認できず		
オオミズムシ	成体 1 個体	—	—
コオイムシ	成体 9 個体	成体 6 個体	成体 8 個体
ヒメケシゲンゴロウ	—	—	成体 1 個体
ルイスツブゲンゴロウ	成体 1 個体	成体 2 個体	—
マルチビゲンゴロウ	成体 153 個体	成体 29 個体	成体 123 個体
ヒメゲンゴロウ	—	—	成体 1 個体
キイロコガシラミズムシ	—	—	成体 1 個体
チュウブホソガムシ	成体 144 個体	成体 40 個体	成体 1 個体
スジヒラタガムシ	成体 46 個体	成体 6 個体	成体 18 個体
ミュキシジミガムシ	—	—	成体 30 個体

表 3.2-4 陸産貝類の移設結果

種名	移設場所		
	移設地A	移設地B	移設地C
ヒメカサキビ	生貝 2 個体	—	—
ケハダビロウドマイマイ	生貝 1 個体	—	—
ギョウリキマイマイ	卵 11 個	—	—

4. 生態系の注目種の移植・移設

4.1. セトウチサンショウウオ（典型性の注目種）

セトウチサンショウウオ※の移設概要を表 4.1-1、移設結果を表 4.1-2 に示す。

（※ カスミサンショウウオは 2019 年 2 月に分類が変更され、兵庫県の瀬戸内海沿岸地域の個体群はセトウチサンショウウオに分類されている。）

表 4.1-1 セトウチサンショウウオの移設概要

項目	内容
実施時期	令和 2 年 3 月 13 日、4 月 4～5 日、5 月 13 日、21 日、25 日 令和 3 年 3 月 31 日（補足）
実施箇所	移設元：改変区域内の既往確認地点 5 箇所 移設先：非改変区域の移設地 A、B、C
実施方法	【個体の移設】 改変予定区域の既知生息地を踏査し、セトウチサンショウウオの卵のう、幼生、成体を採集・捕獲した。採集・捕獲した個体は、クーラーボックス等の容器に収容し、移設地 A、B、C に運搬して放流した。

表 4.1-2 セトウチサンショウウオの移設結果

種名	移設場所		
	移設地 A	移設地 B	移設地 C
セトウチサンショウウオ	卵のう 7 対 幼生 22 個体 成体 4 個体	卵のう 14 対 幼生 15 個体 成体 4 個体	幼生 8 個体

4.2. タコノアシ（特殊性の注目種）

タコノアシの自生株の移植概要を表 4.2-1、自生株の移植結果を表 4.2-2 に示す。

表 4.2-1 タコノアシの自生株の移植概要

項目	内容
実施時期	令和元年 11 月 12 日、令和 2 年 5 月 12 日、25 日
実施箇所	移設元：改変区域内の既往確認地点 8 箇所 移設先：非改変区域の移設地 A、B、C
実施方法	【自生株の移設】 改変区域の生育個体をスコップで土ごと掘り取り、乾燥しないようにコンテナボックス等に収容して移植地に運搬し、移植した。移植後は十分に灌水を行った。

表 4.2-2 タコノアシの自生株の移植結果

種名	移植場所		
	移設地 A	移設地 B	移設地 C
タコノアシ	87 個体	37 個体	24 個体